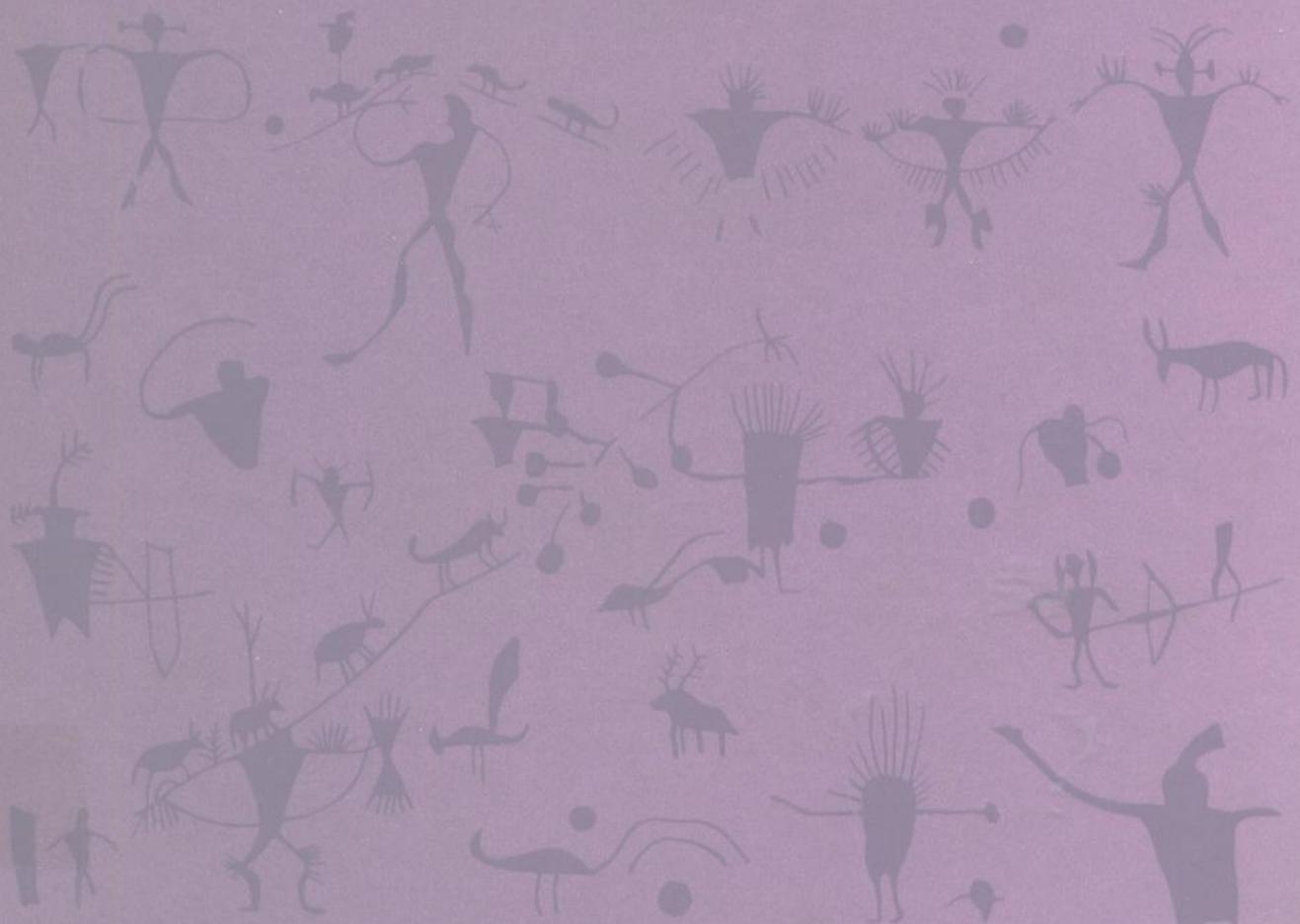


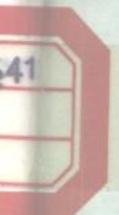


# 云贵高原岩画 的发现与研究

汪宁生



文物出版社



# 云南沧源崖画 的发现与研究

汪 宁 生



文 物 出 版 社

2136/4

云南沧源崖画  
的发现与研究  
汪宁生

\*  
文物出版社出版  
北京五四大街29号

一二〇一工厂 印刷  
文物出版社印刷厂  
新华书店北京发行所发行

1985年3月第一版第一次印刷  
787×1092 1/16开 印张：9 1/2 插页：12

统一书号：11068·1311 定价：（精）6.70 元  
（平）3.50 元

The Rock Paintings of  
Cangyuan County, Yunnan:  
Their Discovery and Research

Wang Ning Sheng

Cultural Relics Publishing House

Beijing 1985

# 目 录

第一章 绪论.....	(1)
一 地理环境和自然条件.....	(1)
二 古代文化遗存和历代建置.....	(3)
三 崖画发现经过和田野工作方法.....	(7)
第二章 一般特征.....	(13)
一 分布和保存情况.....	(13)
二 颜色.....	(15)
三 画具.....	(17)
四 技法和风格.....	(18)
第三章 崖画地点 .....	(21)
一 第一地点.....	(21)
二 第二地点.....	(32)
三 第三地点.....	(36)
四 第四地点.....	(38)
五 第五地点.....	(41)
六 第六地点.....	(47)
七 第七地点.....	(55)
八 第八地点.....	(62)
九 第九地点.....	(63)
十 第十地点.....	(66)

---

第四章 内容和题材.....	(68)
一 图形分类考释.....	(68)
(一) 人物.....	(68)
(二) 器物.....	(73)
(三) 房屋.....	(77)
(四) 动物.....	(79)
(五) 神祇和神话人物.....	(85)
(六) 自然物.....	(87)
(七) 符号和手印.....	(89)
二 几种画面的分析.....	(91)
(一) 狩猎.....	(91)
(二) 放牧.....	(92)
(三) 村落.....	(93)
(四) 战争.....	(93)
(五) 舞蹈.....	(94)
(六) 杂技.....	(95)
第五章 作画目的和社会作用.....	(98)
一 作画目的和作用种种.....	(98)
二 模拟巫术的产物.....	(99)
三 祈求丰产仪式的遗留 .....	(100)
四 崇拜神祇的画像 .....	(100)
五 重要仪式的描绘 .....	(101)
六 重大事件的纪录 .....	(101)
七 神话传说的记载 .....	(102)
第六章 年代与分期 .....	(104)
一 断定年代的方法 问题.....	(104)
二 崖画与云南青铜器及铜鼓图象 的 比较.....	(105)
三 崖画所反映的习俗与文献有关记 载.....	(109)

---

四	滇、桂、川三地崖画的关系	(110)
五	关于崖画年代的推测及分期问题	(115)
<b>第七章 人类学的考察</b>		<b>(117)</b>
一	境内分布之民族及其来源	(117)
二	当地民族有关崖画之传说	(118)
三	崖画中反映的部分习俗仍为当地民族中所保存	(119)
四	当地民族绘画与崖画的比较	(120)
五	崖画创作者的族属问题	(125)
<b>结 语</b>		<b>(126)</b>
<b>后 记</b>		<b>(127)</b>
<b>附 录</b>	<b>昆明有色金属研究所光谱分析 报 告</b>	<b>(131)</b>

## 插 图 目 录

一	崖画地点分布图	(2)
二	倒石头寨洞穴遗址出土陶片纹饰	(5)
三	澳大利亚人以手指作崖画	(17)
四	第一地点各区分布图	(21)
五	第一地点 1 区	(22)
六	第一地点 2 区左端零散图形	(22)
七	第一地点 2 区	(23)
八	第一地点 2 区右端零散图形	(24)
九	第一地点 3 区(上)	(25)
一〇	第一地点 3 区(左下)	(25)
一一	第一地点 3 区(右下)	(26)
一二	第一地点 4 区(上)	(27)
一三	第一地点 4 区(下)	(27)
一四	第一地点 5 区	(29)
一五	第一地点 5 区(左下)	(30)
一六	第一地点 5 区(中下)	(30)
一七	第一地点 5 区(右下)	(30)
一八	第一地点 6 区(上)	(31)
一九	第一地点 6 区(下)	(32)
二〇	第二地点各区分布图	(32)
二一	第二地点 1 区	(35)
二二	第二地点 1 区(右下)	(36)
二三	第二地点 2 区	(36)
二四	第三地点	(37)
二五	第三地点零散图形	(38)

二六	第四地点各区分布图	(38)
二七	第四地点 1 区 (上)	(39)
二八	第四地点 1 区	(39)
二九	第四地点 2 区 (上)	(40)
三〇	第四地点 2 区 (下)	(40)
三一	第五地点各区分布图	(41)
三二	第五地点 1 区 (左)	(41)
三三	第五地点 1 区	(42)
三四	第五地点 2 区 (左)	(43)
三五	第五地点 2 区 (中)	(43)
三六	第五地点 2 区 (右)	(44)
三七	第五地点 3 区	(45)
三八	第五地点 4 区	(45)
三九	第五地点 5 区	(46)
四〇	第五地点西北崖壁上的图形	(46)
四一	第六地点各区分布图	(47)
四二	第六地点 1 区	(48)
四三	第六地点 2 区	(48)
四四	第六地点 3 区	(49)
四五	第六地点 4 区 (上)	(50)
四六	第六地点 4 区 (中)	(50)
四七	第六地点 4 区 (下)	(51)
四八	第六地点 5 区	(52)
四九	第六地点 5 区 (右上)	(52)
五〇	第六地点 6 区 (上)	(53)
五一	第六地点 6 区 (下)	(54)
五二	第六地点 6 区 (右端)	(55)
五三	第六地点零散图形	(55)
五四	第七地点各区分布图	(56)
五五	第七地点 1 区	(56)
五六	第七地点 2 区 (左上)	(57)

---

五七	第七地点 2 区 (右下) .....	(57)
五八	第七地点 3 区 (左上) .....	(57)
五九	第七地点 3 区 (中) .....	(58)
六〇	第七地点 3 区 (右上) .....	(59)
六一	第七地点 4 区 (上) .....	(59)
六二	第七地点 4 区 (中下) .....	(60)
六三	第七地点 5 区 (左上) .....	(60)
六四	第七地点 5 区 (右上) .....	(60)
六五	第七地点 5 区 (下) .....	(60)
六六	第七地点 6 区 .....	(61)
六七	第七地点 7 区 .....	(61)
六八	第七地点 8 区 .....	(62)
六九	第七地点零散图形 .....	(62)
七〇	第八地点 .....	(63)
七一	第九地点各区分布图 .....	(63)
七二	第九地点 1 区 .....	(64)
七三	第九地点 2 区 .....	(65)
七四	第九地点零散图形 .....	(65)
七五	第十地点各区分布图 .....	(66)
七六	第十地点 1 区 .....	(66)
七七	第十地点 2 区 .....	(67)
七八	妇女的形象 .....	(68)
七九	崖画和铜鼓图象中头戴兽角 (齿) 者的比较 .....	(70)
八〇	崖画和青铜器图象中头饰尾者的比较 .....	(71)
八一	崖画中“鸟形人”和铜鼓图象中的背插羽毛者 .....	(71)
八二	人物形象的几种耳饰 .....	(72)
八三	人物形象的几种腰饰 .....	(73)
八四	箭簇的几种形式 .....	(73)
八五	使用牛角的几种方法 .....	(74)
八六	盾牌的两种形式 .....	(75)
八七	崖画中持矛者 (左) 与青铜矛 (右) .....	(75)

八八	木栅捉猴图	(76)
八九	干栏式房屋的几种形式	(78)
九〇	崖画中树上房屋与现代树屋	(78)
九一	瘤牛(1)和水牛(2)	(80)
九二	象的几种画法	(81)
九三	短尾猴(1)和长尾猴(2)	(82)
九四	麂子(1)和马鹿(2)	(83)
九五	雉类或孔雀	(83)
九六	身有物发光者	(85)
九七	崖画中头画动物的人形和原始记事中的图腾标记	(86)
九八	崖画中的符号	(89)
九九	北非崖画中的手印	(90)
—〇〇	狩猎的几种方法	(91)
—〇一	放牧图	(92)
—〇二	战争图	(94)
—〇三	舞蹈的人群	(94)
—〇四	杂技图	(95)
—〇五	西班牙Gasulla gorge洞穴壁画中野牛逐人图	(102)
—〇六	崖画和铜鼓图象中头插羽毛者的比较	(105)
—〇七	崖画和铜鼓图象中持盾牌者的比较	(106)
—〇八	崖画和铜鼓图象中鸟饰干栏及春白人像的比较	(107)
—〇九	早晚铜鼓图象中不同形式的干栏	(109)
—一〇	国外崖画中的妇女	(111)
一一一	国外崖壁艺术中倒绘的动物图形	(112)
一一二	蒙古崖画中的马车	(112)
一一三	滇桂川崖画图形的比较	(113)
一一四	沧源画布	(121)
一一五	澜沧画布	(122)
一一六	西盟佤族“大房子”壁画	(123)
一一七	沧源崖画与附近少数民族近代绘画的比较	(124)

## 彩 版 目 录

- 一 1第一地点2区(左) 2第一地点2区(右) ..... (I')
- 二 1第一地点5区(中上) 2第一地点5区(中) ..... (II')
- 三 1第一地点5区(中) ..... (III')
- 四 1第三地点 2第四地点1区有鸟饰的干栏 ..... (IV')
- 五 1第五地点5区手印 2第五地点2区(中) 树上房屋 ..... (V')
- 六 1第六地点6区 2第八地点 ..... (VI')
- 七 1第七地点4区太阳人和羽人 2第七地点1区舞蹈图 ..... (VII')
- 八 1第九地点1区 2第十地点2区 ..... (VIII')

## 图 版 目 录

一	1 第六地点外景 2 第七地点外景	(I)
二	第二地点 1 区	(II)
三	1 第六地点 1 区 2 第六地点 2 区	(III)
四	1 第六地点 3 区 (上) 2 第六地点 3 区 (下)	(IV)
五	1 第六地点 4 区 (中) 2 第六地点 4 区 (上) 3 第六地点 4 区 (下)	(V)
六	1 第六地点 5 区 2 第六地点 5 区 (右上角)	(VI)
七	第六地点 6 区 (上)	(VII)
八	第六地点 6 区 (下)	(VIII)
九	1 第六地点 6 区 (右端) 2 第六地点 6 区 (左上角)	(IX)
—〇	第六地点零散图形	(X)
一一	第七地点 3 区	(XI)
一二	1 第七地点 1 区羽人 2 第七地点 5 区羽人	(XII)
一三	1 铜钺 (民良) 2 I 型石斧 (关卡坝) 3 II 型石斧 (南脂) 4 石杵和石砧 (南脂) 5 破石 (南脂) 6 石球和弹丸 (南脂) 7 石凿 (民良) 和石矛 (南脂)	(XIII)
一四	1 戴圆饼状耳坠的佤族妇女 2 耳戴大环腰围藤圈的佤族妇女 3 戴管状 耳坠的崩龙族妇女 4 臂带银圈的傣族妇女	(XIV)
一五	1 傣族作为宝物崇拜的圆石 2 傣族作为宝物崇拜的兽牙等物 3 傣族作为宝物 崇拜的有肩石斧和石斧 4 傣族作为宝物崇拜的水晶石	(XV)
一六	1 西盟佤族干栏式“大房子” 2 “大房子”门上浮雕 3 “大房子”屋 顶鸟饰及人像 4 西盟佤族干栏 5 佤族干栏	(XVI)

# 第一章 緒論

## 一 地理环境和自然条件

崖画是指古人或现代后进民族以天然颜料在崖壁或洞穴中所绘之画而言<sup>①</sup>。根据目前掌握的线索，在云南西部这种崖画分布比较广泛。这本书要介绍的仅是沧源县境内发现的十个地点。

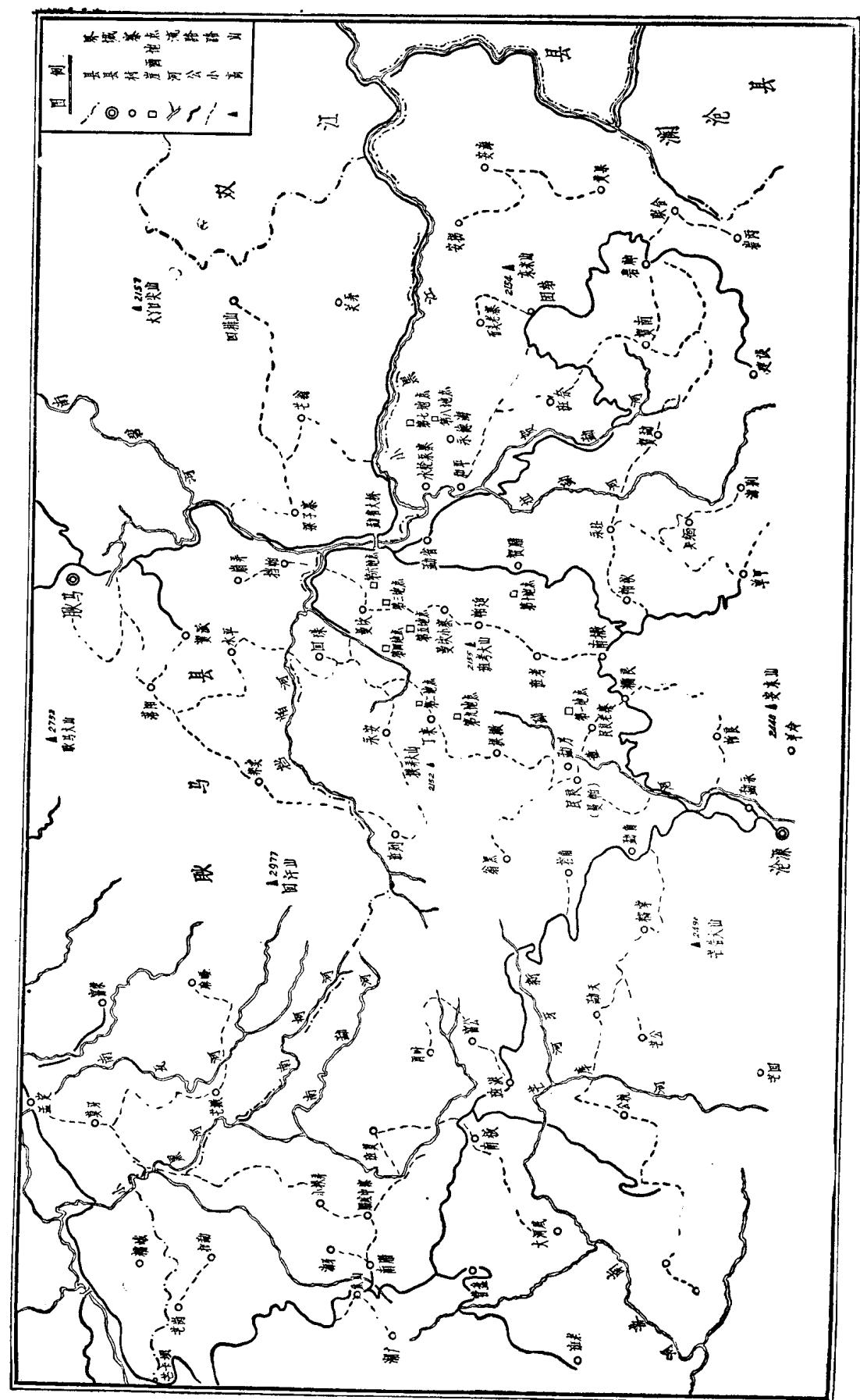
沧源县位于云南西南边境，今属临沧专区，北、东、东南三面与耿马、双江、澜沧诸县相接，西面和西南面与缅甸掸邦接壤，其地理位置为东经 $98^{\circ}52'$ — $99^{\circ}42'$ 、北纬 $23^{\circ}05'$ — $23^{\circ}30'$ 。总面积约4000平方公里。迄已发现的崖画集中分布于沧源县东北境（图一）。

沧源全境多山，著名的高山有安东山（海拔2448米）、东米山（海拔2154米）、拱弄大山（海拔2152米）等。著名的河流有南滚河、勐董河、小黑江以及其支流—拉勐河。在群山环抱之中，在河谷两旁，亦有平坦地带，即云南人所谓坝子。较大坝子有勐董（县城所在地，海拔1230米）、勐角（海拔1220米）、勐省（海拔970米）、勐乃（海拔1220米）。

这一地区属亚热带，气候较热，年平均温度为 $16^{\circ}$ — $17^{\circ}\text{C}$ 。每年5月至8月，气温最高（平均为 $20^{\circ}$ — $22^{\circ}\text{C}$ ，低坝区可达 $40^{\circ}\text{C}$ ）；1月份气温最低（平均 $10^{\circ}\text{C}$ 左右，高山区在 $0^{\circ}\text{C}$ 以下）。大部分地区终年无霜期或在1、2月间有微霜。雨量充足，年平均降雨量为1750mm左右。降雨集中在5月至9月，是为雨季；其他诸月为旱季。

这一地区自然资源较为丰富，地下蕴藏着银、铅、铁、铜、煤等矿产。农作物以稻谷为主，次为玉蜀黍和小麦。经济作物有甘蔗、橡胶等。各种亚热带的植物和水果均能

<sup>①</sup> 崖画（rock paintings）和崖壁上雕刻（rock engravings），均属于“崖壁艺术”（rock art）。两者在世界很多地区时常并存，内容又有一定的联系，以至在很多著作中被混同起来，统称“崖画”；或将前者称为“颜料岩画”，后者称为“雕刻岩画”（苏联学者多用此名）。沧源无崖壁雕刻，故本书所说的崖画是狭义的，仅限国内外那些以颜料绘成的真正的崖画。



图一 崖画地点分布图

在这里生长。

这一地区森林茂密，虽经近年大量砍伐，森林覆盖面积仍占土地总面积百分之十以上。在森林中生活着虎、豹、猴、熊、羚羊、岩羊、野猪、马鹿、麂子等野兽，以及孔雀、犀鸟等珍禽。特别是在班洪、班老一带，至今还有野象出没，是我国为数不多的产象地之一，现列为重要的动物保护区。

总之，沧源地区自然条件是优越的，很适合人类的居住。这里自古以来就有各族人民在生息和劳动，并留下较丰富的文化艺术遗产，绝非偶然。

## 二 古代文化遗存和历代建置

沧源地区不止一次发现古代文化遗物，兹仅据我们历次调查及搜集到的标本（图版三），略作介绍。从中不仅可以看出沧源地区的悠久历史，也可为今后进一步在这里开展考古工作提供线索。

### （一）打制石器

1965年1月，第一次调查崖画过程中，在沧源糯良见到工作队从群众手中收集来的“迷信用物”中有打制石器三件，是当地佤族作为“雷斧”崇拜而长期收藏之物，出土具体地点不明。由于久经摩挲，边缘磨得很光滑，但仍可看出原是一种石片石器，为刮削器之类。石呈红色，最大一件长约7—8、宽4—5厘米。

这些迹象提示我们，沧源境内或有旧石器文化之分布。

### （二）新石器时代遗物

沧源境内有新石器文化遗存，发现遗物较多，已知遗址及发现文物地点有以下几处：

#### 1. 民良

1965年1月，在民良老寨见到通体磨光的石凿一件，呈黑色，凿身平面作长方形，凿身细长而厚，两面开刃处磨成弧形，长约7、宽1.5、厚1.5厘米。原物保存在头人手中。

#### 2. 芒卡坝

1978年8月，第二次调查崖画过程中，在此发现过一个遗址。遗址即在芒卡坝农业中学前之台地上，已因开荒和盖房而扰乱，地面散布石器碎片甚多，我们获完整磨光石器三件：

（1）石斧：二件，板岩制成，均呈绿色，斧身扁平，磨制不精。两面开刃处磨出弧形痕迹，长6—8、宽2—3、厚约0.5厘米。

(2) 砺石：一件，粗砂岩制成，略呈圆形而有棱，有三面因经常磨物较光滑，其中一面与所获石斧弧度正合，可知磨光石器即用此物。两端有断裂面，长10、最大径约6厘米<sup>①</sup>。

1981年云南民族学院民族研究所王敬骝同志又在该地点搜集石斧四件，质料、形制、大小与前次采集的均同<sup>②</sup>。

### 3. 南腊

1981年1月王敬骝同志在南腊地区的小滚弄、田坝、户那坝又采集一批石器和陶片<sup>③</sup>：

(1) 石斧：共分两型，均为板岩制成。I型，二件，略同芒卡坝所发现者，两面开刃处有弧形痕，长8—7、宽4.5、厚约0.4厘米。II型，五件，平面亦作长方形，近刃部稍宽，体更薄，圆口刀，开刃处无弧形痕迹。此物用途似与一般石斧有异，类似后世夺铲。

(2) 砺石：一件，粗沙岩制成。断面略呈四方形，有三面使用过，已磨光，长18.5、宽5.3、厚4.5厘米。

(3) 石矛：一件，粘板岩制成。矛尖折断。残长17、宽3、厚0.8厘米。

(4) 石杵：一件。圆柱形，中有两段较细，便于握持。长13、圆径4.5厘米。

(5) 石砧：一件。圆形略扁，两端有凹窝，似为垫物敲打。最大圆径8厘米。

(6) 石球：二件，泥质砂岩制成。圆径10—6厘米。似为系绳抛掷的狩猎工具。

(7) 石饼：一件。扁圆片，似为作垫之物。圆径11、厚2.2厘米。

(8) 石圆片：六件，两件完整，叶岩制成。两面及边缘均磨得很光滑，呈规整的正圆形。不知用途。取圆片余下的石料亦发现两件，故知此物为当地所制。径5—3.8、厚约0.6厘米。

(9) 陶片：夹沙粗陶，灰褐色，有压印的方格纹等。

(10) 黏土弹丸：五件。圆径3.5—2厘米。

### 4. 倒石头寨

勐省通往耿马公路沿江而行，在479里路桩附近有一道班房（该地原名倒石头寨），

① 参见汪宁生：《云南考古》图版拾柒，2，云南人民出版社，1980年。

② 1978年搜集的标本现存云南省博物馆。1981年搜集的标本现存云南省民族研究所考古室。

③ 这批标本现存云南省民族研究所考古室。